



ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

瀬戸小だより

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/setogaya/>

令和8年6月30日
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校
7月号



愛川体験学習

副校長 岩崎 佳奈

夏至を過ぎ、梅雨は続いています。夏の訪れを感じる季節となりました。瀬戸ヶ谷小学校では、16日に体育委員会の運営のもと、プール開き朝会を行いました。水泳学習における大切な約束をクイズ形式で出して全校児童が考えたり、代表児童の今年のめあてを聞いたりしました。安全に楽しくプールでの学習ができるように取り組んでいます。

さて、6月25日、26日には愛川での体験学習が行われました。今年度から4年生は日帰り、5年生は一泊二日で行うこととなりました。それぞれの学年が事前に準備をし、めあてをもって当日に臨みました。

25日の午前中には、4年生は宮ヶ瀬ダムへ行き、社会科の学習と関連させて「水」について学び、5年生はレインボープラザで藍染体験や組み紐作りを行い、愛川町の伝統文化に触れました。4年生から「ダム、すごく大きかったよ。」「高かったよ。」という感想を聞き、現地でその大きさを体感することで得られる驚きや喜びがあったことが分かりました。また、5年生も藍染体験を通して、染料が緑っぽい色からだんだんと藍色に変化していく様子を体感したり、それぞれ個性豊かな作品を作り、友達の工夫を認め合ったりすることができました。4・5年生ともに、貴重な経験をする事ができたのではないかと思います。

特に5年生は、昨年度の経験を活かし、みんなが楽しめるようなバスレクを考えたり、ふれあいの村で4年生と一緒に活動する計画を立てたりしました。昨年、自分たちが今の6年生と一緒に活動した経験から、なかよし班のグループでディスクゴルフを行う計画を立てていました。

当日は、台風の接近がありお天気には恵まれませんでした。午後からは4・5年合同のレクリエーションに変更し、互いに声を掛け合って楽しむ姿が見られました。5年生が4年生の列の中に入って学年の塊をなくそうとしたり、最後のチームがゴールするまでみんなで拍手を送り合ったりするなど、見ても参加してもとても楽しく気持ちの良い時間となりました。4年生から5年生への「ありがとうの会」が行われたり、5年生が4年生を見送ったりして、合同で過ごす時間はあっという間に過ぎていきました。

その後、5年生は夜にキャンドルファイヤーを行いました。歌にダンスにゲームに、声が枯れるほど大きな声を出して、全体を盛り上げてくれた係の子どもたち、そして周りのみんなの笑顔と互いに全力で楽しむ姿、いつもとは違う仲間とさっと組になる姿など普段とはまた違う素敵な姿がたくさん見られました。

翌日、体育館で行ったフリスビーゴルフでも、チームの友達に声援を送り、ナイスプレーを称賛し、自分や仲間の頑張りや上達を喜んでいました。

2学年とも充実した活動ができたのは、それまでの計画や準備、練習をしっかりと行い、自信をもって取り組むことができたからだと思います。

今年度新しくなった取組ですので、今年の反省を生かし、見直しを行って来年度につなげていきたいと考えています。